

「鳥インフルエンザに負けるな！」

がんばる京都府内養鶏農家を励ますつどい」アピール(案)

京都府丹波町内で発生した鳥インフルエンザをめぐる問題は、府内のみならず、日本国中に大きなショックをあたえました。今回の措置は「鳥から鳥への感染をふせぐ」ためのもので、食品の安全性とは別の問題ではあるのですが、鶏卵・鶏肉の消費が落ち込んでいます。一方、養鶏農家の苦しみ・不安はたいへん大きいものがあります。このようななかで、京都府内の農業生産をになうJAグループと消費をになう生協グループが一堂に会し、京都府内の養鶏農家を励ますつどいを開催したことは意義のふかいことです。

本日のつどいでは、府内の生産者からこの間の状況報告とこんごへの決意がのべられ、消費者からは激励と期待の言葉がありました。京都府内産の鶏卵・鶏肉の価値・安全性についても、あらためて学びあい、利用回復へむけての大切な場とすることができました。「食」の安定・安全・安心への実現へむけて、生産者と消費者がともに手をたずさえ、心をよせあつて、地産地消の取り組みを力づよくすすめていきましよう。

二〇〇四年四月一五日

「鳥インフルエンザに負けるな！」

がんばる京都府内養鶏農家を励ますつどい」参加者一同